

伊達な旅ガイド

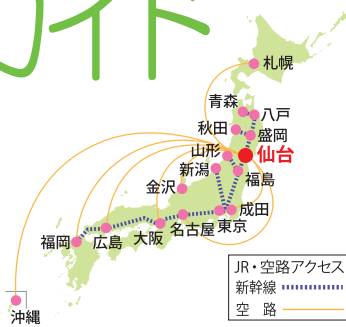
Vol.118

笑顔咲くたび 伊達な旅
仙台 Sendai & Miyagi, where smiles blossom 宮城

伊達な旅紀行

いいトコ!
みやぎ

毎週月曜日
19:54~20:00
BS-TBSにて大好評放送中



4月29日
放送

笑顔咲くたび伊達な旅 ~リゾート列車でほっこり旅~



リゾートみのり

全車指定席

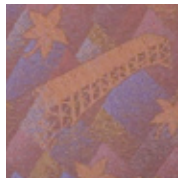
運転日：6月30日までの金・土曜、祝日

「リゾートみのり」が走る陸羽東線は、沿線に鳴子温泉など数多くの温泉が点在。芭蕉ゆかりのスポットもあることから、「奥の細道湯けむりライン」の愛称で親しまれています。「リゾートみのり」に乗って、鳴子温泉にある芭蕉ゆかりの地を訪れ、ゆっくり温泉でくつろぐのがおすすめ。新名物「なるこちゃんご鍋」を味わい、思い出に残る旅をしてみませんか。

魅力満載「リゾートみのり」



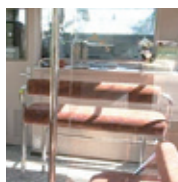
車両前面には、伊達政宗の兜を模した「アンティークゴールド」の装飾を配し、力強さを表現。



座席の模様は、「紅葉」をイメージしたデザイン。



肘掛には天然木を使用、足元も広くゆったりとした座り心地が魅力です。



先頭車両の「展望スペース」からは、美しい景色が堪能できます。

うれしいサービス「みのり・んめものセット」

チケットを事前に手に入れ、リゾートアテンダントの「みのりっ娘」に渡すと、沿線の名品を関連駅通過後に1品ずつ持ってきてくれます。そのほか、お酒が好きな人には「みのり・んめ酒セット」がおすすめ。「んめもの」とはおいしいものという意味の方言です。

※時期によって品物が変わります。
※詳しくは主な駅の「びゅうプラザ」にお問い合わせください。



例えばこんな名品・・・



今回立ち寄った場所

しとまえ 尿前の関

芭蕉が通ったとされる場所の1つ。句碑が建てられ、この場所で芭蕉が詠んだといわれる句が刻まれています。



蚤虱
馬の尿する
枕元

ボランティアガイド 遊佐 巖さん

「元禄2年5月15日、今の暦の7月1日に、芭蕉がここを通ったことが、奥の細道に記述されています。冠貴門と呼ばれた関所の裏門です。芭蕉はここを通るとき、通行手形を持ってなかったので、そうとう絞られたようです」



鳴子温泉 大正館

Tel.0229-83-2266

くつろげる雰囲気と料理が自慢。温泉はやわらかな硫黄泉で、体の芯まで温まります。「なるこちゃんご鍋」の味付けはしょうゆ味です。



義経ゆかりの湯 姥乃湯

Tel.0229-83-2314

4つの源泉が楽しめ、義経の伝説が残る宿。「なるこちゃんご鍋」の味付けは味噌バター味です。



義経ゆかりの湯 姥乃湯 女将 遊佐 千恵さん

「なぜ鳴子で“ちゃんご鍋”かといいますと、宮城野部屋の方々が鳴子にいらして被災者と交流し、ちゃんご鍋を出してくれたことがきっかけ。そのちゃんご鍋がおいしかったという評判から、新名物として考案されました」



ZOOM UP

親方ちゃんご鍋(なるこちゃんご鍋)
鳴子の27の旅館で提供され、それぞれ独自の味付けがされています。

